

会 議 録

会議の名称	第9回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	平成29年 8月28日(月) 午後7時00分～8時45分
開催場所	戸田市役所 大会議室A
委員氏名	<p>◎□ 大山 宣治 ○□ 横山 誠 ■ 宮崎 快</p> <p>■ 千葉 修平 □ 西久保 裕康 □ 柴田 忠雄</p> <p>□ 丸山 利男 □ 播 義也 ■ 市川 悦夫</p> <p>■ 武内 利行 ■ 菅原 光正 □ 岡本 莉奈</p> <p>□ 伊藤 寛幸 ■ 遠藤 英樹 ■ 細田 昌孝</p> <p>■ 川上 実雪 □ 廣井 佑磨 □ 松下 啓一</p> <p style="text-align: right;">(◎委員長 ○副委員長)</p> <p style="text-align: right;">(□出席 ■欠席)</p>
事務局	後藤課長 石原主幹 元谷主事
議 題	<p>1 平成29年度実施スケジュール修正案について(報告)</p> <p>2 平成29年度フォーラムについて</p> <p>3 平成30年度実施事業について</p> <p>4 答申書について</p> <p>5 その他</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<p>1 第9回会議資料</p> <p>2 別紙 戸田市自治基本条例第20条第1項に基づく諮問書</p> <p>3 市長諮問書(平成27年12月21日付 戸協第771号)に対する答申書に盛り込むべき内容について(回答)</p>
議事録確定	<p>平成 29年 9月 22日</p> <p style="text-align: center;">委員長 大山宣治</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p><u>(1) 平成29年度実施スケジュール修正案について (報告)</u></p> <p>第9回会議資料に基づき説明</p> <p>前回の委員会においてフォーラムの実施時期が平成30年1月に決定したことから、今年度のスケジュールが若干変更となったため、会議資料P1をもとに説明</p>
委員長	<p>議題(1)について、質疑等ないか</p> <p>≪質疑等なし≫</p>
事務局	<p><u>(2) 平成29年度フォーラムについて</u></p> <p>第9回会議資料に基づき説明</p> <p>○ フォーラム実施の意図について 内容等を検討する前に、フォーラムを実施する意図について以下のとおり説明</p> <p>【フォーラム実施の意図】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 条例の理念を市民に広めていく。・ 市民・議会・行政など、様々な立場の市民が話し合う場を設ける。・ 「戸田のまちをもっとよくしていこう」という意識を持つまちづくりの新たな担い手となる市民を増やす。 <p>また、フォーラムはあくまで条例の理念を広めるための一つの手段であり、個別具体的な課題を解決する場ではないことを再確認</p> <p>○ ターゲット (対象) P2に前回までに出された案をいくつか挙げたので、これらを参考にターゲットを絞ってほしい。</p>

委員	学生の成人式への参加率はとても高いと聞いている。
委員長	若者の参加という面からも、成人式との連携は前向きに検討する必要があると感じる。
委員	高齢者の方は、長く市に関わってきており、様々な思いを持っていると思われる。P2に4つのターゲット案が挙げられているが、これに加えて高齢者の方の意見を聞く場を設けることも大切ではないか。
委員	若者、子育て世代だけではどうしても人を集めるのが難しくなってしまう。それを考えると、地域活動をしている人や高齢者も対象に加えなければフォーラムとして成立しないことが考えられる。したがって、「世代間交流」という視点から考える必要もあると思う。
委員	<p>前回のフォーラムでは、「町会・自治会」がテーマだったこともあり、参加者の年齢層が高かった。それを考えると、フォーラムを通じて高齢者と若者との交流が生まれればよいと思う。</p> <p>また、市民大学に参加している方も問題意識がある為、参加してもらえると良い。</p>
事務局	市民大学では、受講者とは別に運営自体に関わっている人がいる。講座の際にそのような方に周知することもできる。
委員	<p>今回のフォーラム開催時期は第2期の最初である。それを考慮すると、フォーラムをただ実施して終わりではなく、フォーラムを機に委員会としてのあり方や今後の取り組みについて委員が理解を深めていくことが重要である。そして、2回目のフォーラムの開催にそれまでの取り組み成果を生かし、第2期の最終的な提言につなげられるとよいと思う。</p> <p>参加者にとっても、フォーラムで自身が出した意見がどのようにつながっていったか知ることができると良いと思う。それではなければフォーラムを開催する意味がない。</p> <p>テーマについては、高齢者も含めた世代間交流を中心に考えると良いと思う。</p>
事務局	<p>事務局としては、絞ったターゲットに関する課題を解決していく、というスタンスではなく、ターゲットの抱える課題をどのように協働で解決していこうか、という考えでテーマを設定してもらえると良いと考えている。</p> <p>例えば、子育て世代に関するテーマであっても、子育て世代にだけ参加してもらうのではなく、テーマに対して様々な世代、分野の方に参加いただきたいと考えている。</p>
委員長	ターゲットによって、周知方法などが異なってくると思う。

委員	<p>以前も話したが、参加者を募る際に無作為抽出を実施すると良いと思う。他の自治体でも実施したことがあるが、送付件数の約1%の参加が見込める。(3,000件送付すれば、30人)</p> <p>今年度は予算の関係上難しいと思うが、平成30年度の実施を検討してみてもどうか。</p> <p>広報紙やSNS等を活用しても、若者や子育て世代はなかなか参加しないと思う。それを考えると、無作為抽出は効果的であると思う。今回は無作為抽出が実施できないので、参加者集めには力を入れる必要があると感じている。最終的には口コミが一番効果的である。</p>
委員	<p>若者を集めるのが難しいという事であれば、今回成人式の案内状に同封するのは良い機会といえるのではないか。</p>
事務局	<p>新成人に限定される部分はあるが、事務局としては、タイミングも含め貴重な機会でもあるので、活用したいと考えている。</p>
委員長	<p>成人式での配布と、前回のような市内の全戸配布をすればある程度の参加者は想定できるのではないか。</p>
委員	<p>成人式以外の方法で考えると、地元の高校に声掛けをする自治体もある。その結果、生徒会の生徒などが参加してくれることもある。やはり有効なのは口コミである。</p> <p>高齢者や地域の方は、前回同様の周知方法である程度参加が期待できると思う。ただ、若者を集めるとなると、もうひと工夫必要だと思う。</p>
委員	<p>「はたちの集い実行委員会」の委員と直接話すのも良いと思う。</p>
委員長	<p>成人式などを活用して若者を呼び込むことを軸に、高齢者も参加できるような内容で進めていけばよいと思う。</p>
事務局	<p>案内状送付時に同封するとなると、成人式の通知準備がおそらく12月になるので、それまでにフォーラムの内容を決定し、チラシなどを作る必要がある。</p>
委員	<p>案内状送付時に同封する形と成人式当日に配布する方法があると思うが、どちらが良いか。</p>
委員	<p>数年前に成人式に参加したが、私の経験上、当日の配布資料は見てももらえない可能性が高いと感じる。資料を受け取っても、その場ですぐにカバンに入れてしまう可能性が高い。</p>
委員	<p>新成人よりもさらに若い、中学生などが参加すると新しい意見が出</p>

	<p>て会場も盛り上がると思う。その場合は、学校に直接打診する形になると思う。また、一人では参加しにくいので、友達同士で来られるような内容にする必要がある。</p>
委員長	<p>前は市民大学認定講座にもなっていたので、そちらに参加している人も来てくれるのではないかと。</p>
事務局	<p>前は市民大学参加者からも9名の参加があった。今回も市民大学認定講座として実施する方向で考えている。</p>
委員	<p>中学生・高校生に関しては、学校に積極的に働きかけないと集まらないと思う。</p>
委員	<p>フォーラムに様々な世代の方が参加し、みんなが持っている多様な意識を共有することで、戸田が良くなるために必要なことを考えたり、自分が担い手になるとういう思いを持ったりすると思う。その結果、まちの新たな担い手をつくるきっかけとなる場となればよい。担い手が増えないと理念は広まらない。</p>
委員長	<p>各学校や市議会議員など、様々な分野を通して、多くの人に周知できれば良いと思う。</p>
委員	<p>若い人にまちに関心を持ってもらうためには、まず、まちの取り組みに参加してもらうことが必要である。高齢者もそれを望んでいると思う。うまく連携できれば多世代交流につなげることが出来る。</p>
委員長	<p>行政の部署としては、こども青少年部や教育委員会が該当すると思われる。必要であれば、私も委員長としてフォーラム参加の協力に伺いたい。</p>
委員	<p>成人式での新成人への周知をきっかけに若者や中学生などをターゲットにするという話になっているが、その方向でよいか。</p>
事務局	<p>流れとしては若者中心になっているが、「世代間交流」が大きなテーマとなっている部分もあるので、高齢者をターゲットにすることも含めて考えていく認識でいる。現状としては、ターゲットを絞るというよりは、幅広くあるターゲットをそれぞれどうすれば呼び込めるかを議論している状態である。</p>
委員	<p>若者向けのテーマを設定するという認識でよいか。</p>
委員	<p>若者向けというよりは、若者もまちのことに関心を持ってもらえるようなテーマを考える、という認識でよいと思う。</p>

委員	<p>「はたちの集い実行委員会」のような委員会と一緒にフォーラムのテーマなどを考えていくのも良いと思う。実行委員会に関わった人が、その後もまちについて考えるきっかけとしてフォーラムがあると良い。</p> <p>また、「はたちの集い実行委員会」を経験している岡本委員に、「はたちの集い」での話し合いなどでフォーラムの内容やまちづくりを考えるうえでヒントになるようなものがあれば教えてほしい。</p>
委員	<p>「はたちの集い」自体はそこまでイベント的な要素はなく、市に興味を持っている人が多く参加しているという印象である。そういった方は、きっかけがあればより関心を持ってもらえると思う。</p>
委員	<p>実行委員をやって感じることにまちづくりにつながるヒントもあると思う。そういった面ではこの委員会と共有できる部分があるかもしれない。実行委員が感じている課題を解決することが出来る、となると参加してくれる人も出てくるかもしれない。その点については、事前の準備、働きかけが必要である。</p>
委員	<p>前は町会・自治会に興味がある方や年配の方に多く参加してもらった。今回は次世代の担い手である若者を中心に次世代につながるテーマで実施できると、若者以外の方も参加してくれるのではないかな。</p> <p>子ども議会などの行政で持っている様々なつながりを活用してより多くの若者を取り込んでいければ良い。</p>
委員	<p>ボランティア・市民活動支援センターTOMATOの登録団体は、それぞれ思いを持っている方が多いと思う。その方々と若者が関わることで互いの刺激になるのではないかな。</p>
委員	<p>確かに登録団体には思いを持った様々な世代の方がいる。実際に年配の方と若者が意見をぶつけ合っている現場も見たことがある。テーマが具体的で明確であれば意見交換や議論が出来る。しかし、テーマが広すぎると議論することもできない。条例の面から考えると、現状では多世代で議論するのはまだ難しいという印象を持っている。</p> <p>若者から子育て世代までの幅広い世代を集める、という意見が出ていたが、そのように幅広い世代を集めるのは難しい部分が多い。特に中学生・高校生は部活動があるため難しい。南稜高校・戸田翔陽高校にボランティアとして募集することはできるが、最終的には生徒の自主性に係る部分が多い。それぞれ世代によって参加しやすい時間は異なるので、あくまでテーマと時間によると思う。</p>
委員	<p>フォーラムを実施する意図の一つとして、次の提言（答申）にどのようにつなげていくのか、という面があると思う。</p> <p>持続性のあるまち戸田にとって、若い人がまちに関心を持ち、活動に参加するという流れを作らなければまちは活性化しない。この現状</p>

	<p>に対して推進委員会として何ができるか、考える必要がある。フォーラムを開催する中でも学ぶことがあるはずである。若者を集める方法や議論の中で課題が明らかになれば、その解決のためにどうすればよいか、考える中で世代間交流を実践するために必要な方向性が決まってくる。</p> <p>フォーラムの中で出た課題を、第2期推進委員会につなげる必要がある。</p>
委員	<p>注意しなければならないのは、我々はフォーラム準備委員会ではないということである。あくまで条例の理念を広めるためにフォーラムという手法を使っているだけである。</p>
委員	<p>相模原市の若者の会議では、若者が自分達で会議を作って、まちの資源を産業にしていく提案をしている。戸田も同じような取り組みができれば良いと思っている。今回は若者を中心に参加者を集め、その中でまちづくりに参加しようとする若者を後押ししていくような形が良いのではないかと。</p> <p>若者が町会・自治会の活動に参加しにくくなっているのが現状であると考えられる。その原因の一つとして、「若者の意見が通りにくい」という面が考えられるが、それに対する改善策を提示していただくことも必要である。</p>
委員	<p>町会・自治会の方も、若者も、お互いに思いを伝えたいという意識を持っていると思うが、お互いの思いにズレが生じているため、伝え方が分からないというのが現状だと思う。世代によって情報を伝える方法は異なる。フォーラムの大きなテーマが条例を広めることであるならば、若い世代に条例などの情報を伝える方法を話してもらおうと、行政や町会・自治会で生かすことが出来るかもしれない。より良くするために力を貸してもらおう、という考えで何かできないか。</p>
委員	<p>お互いが来てもらいたいと思っているが、自分の今までの経験だけをもとに進めてしまうのでミスマッチが生じている。このミスマッチを解消するのが条例の役割であると思う。</p> <p>条例を伝えるというのは、条文を伝えるという事ではない。みんなが当事者として、よりよいまちをつくるにはどうしたらよいか伝えることである。</p>
委員	<p>以前、第4次総合振興計画の後期見直しの会議に出席し、カテゴリ一分けして様々な面について考えたが、普段考えないことを考える機会を与えられ、とても楽しいと感じた。</p> <p>若者で戸田市に住んでいる期間が短い人でも、それぞれに思いは持っているはずである。</p> <p>一つの方法として、若者が持っている技術を生かす場を設けて、若者の出番を作ることが有効であると考えられる。フォーラムはあくま</p>

	<p>で「しかけ」に過ぎない。フォーラムに参加した人がつながって、そこで経験したことや学んだことをもとにグループを作るなどして実際の生活に生かし、まちの中で実践してもらえるのが良いと思う。それを我々推進委員会が支援し、応援していく。</p> <p>あと、参加者が集まるかは分からないが、テーマは来てのお楽しみで、会場でテーマを割り当てられて、それについて考え、議論する、という形を続けることも必要だと思う。会議ではモノは動かないと思う。</p>
委員長	<p>様々な考えがある中で、今日挙げられた新成人や中学生・高校生を中心に市内の様々な方が参加できるような形が良いのではないかと思います。そこで生まれた課題を次回につなげていくのが良いと思う。</p>
委員	<p>正直、具体的なイメージがあまり湧かない。フォーラムというイベントをやるからには人集めが重要だと個人的には考えている。そのためにはターゲットを絞ったほうが良いが、それも難しい面がある。そうすると、誰にでも当てはまるオールマイティなテーマが良いと考える。「災害」をテーマにすると、誰もが直接かかわる問題なので人は集まると思う。戸田の課題として、マンション住民とその他の住民との助け合いが挙げられると思う。それをテーマに話し合えれば良いと思う。</p>
委員	<p>「災害」というテーマは確かに大事だと思う。しかし、フォーラムでの具体的問題の解決は難しいと思う。そこまで個別具体的になってしまうと解決を求められるフォーラムになってしまうと思う。あくまで、参加することで協働につながるような体験をしてもらい、ということを目標に置いている。フォーラムに参加した人が自ら具体的な目標を定めて結果的に活動を始めていくということであればよいと思う。</p>
事務局	<p>防災をテーマにすると、子ども、大人それぞれでテーマを設定できるかもしれない。しかし、個別具体的になってしまうと、どうしても解決を求められてしまう。</p> <p>自分がまちのために何ができるか考えるきっかけとして自治基本条例があるような形にできれば良いと思う。</p>
委員	<p>これまでは、若者に多く参加してもらうためにどうすればよいか、について議論してきた。若者が防災について知りたがっている、という現状があるならば、テーマは防災でも問題ないかと思う。</p> <p>それとは別に、根本的な話として、このように推進委員会でテーマをどうするか話し合うことをいつまで続けていくのか、という問題もある。委員の中での関心事だけをテーマにしていくのではなく、もっと戸田というまち全体を見渡して課題をピックアップしていくほうが良い。</p>

	<p>今回は成人式とタイミングが合ったので、そこを起点に考えているが、この会議だけで考えるとどうしても偏りが出てしまう。直接若者に話を聞くような動きをしたほうが良い。フォーラムで出たテーマがいずれまちの中で実となっていけばよいと思う。</p> <p>もし、今回若者をターゲットの中心に置くのであれば、もう少し工夫が必要だと思う。</p>
事務局	<p>これまでの意見を聞くと、若者をターゲットの中心に置くという事が委員の総意のように感じる。そこに軸足を置いて、幅広い世代の人が参加できるようなテーマを考える、という流れで良いと思うがいかがか。</p>
委員長	<p>では、異議がなければ、若者の参加に軸足を置きながら、その他の幅広い世代も参加できるテーマを考えるということで決定してもよいか。細かい内容は次回以降に議論できれば良いと思う。</p> <p>《異議なし》</p>
	<p>(3) <u>平成30年度実施事業について</u></p>
事務局	<p>第9回会議資料に基づき説明</p> <p>前回の委員会で「先進自治体への視察」が提案されたので、実施予定事業として予算化に向けて準備を進めている。</p> <p>また、その他に実施する事業として意見があれば審議してほしい。予算要求の日程の関係上、必要となる費用などの詳細まで今回の委員会で決定する必要がある。</p>
委員	<p>委員の出席率がそこまで高くない委員会であることを考えると、委員は多忙なのではないか。そんな状況で、視察を実施することが必要なのか。</p>
委員長	<p>個人的には他自治体で参考になるものがあればぜひ行きたいと考えている。</p>
委員	<p>先進自治体への視察はぜひ実施してほしい。私が関わっている静岡県焼津市は様々な取り組みをしていて参考になると思う。会議自体も事務的な固いものではなく、みんなで楽しく議論できるような会議を実践している。</p> <p>焼津市で視察してほしいのは、会議ではなく「まちづくり集会」。様々な市民が100人くらい集まって楽しく議論している。</p> <p>大切なのはみんなで楽しく議論すること。戸田の会議もそうしてい</p>

<p>委員長</p>	<p>くべきである。現状は少し固すぎる気がする。 視察で条例を学ぶのではなく、体感してほしい、という思いがある。</p> <p>現状、視察先は未定だが、視察自体は実施する方向で進めていきたい。</p> <p>《異議なし》</p>
<p>事務局</p>	<p>交通手段としてはバスが想定される。バスのサイズによっては、委員以外の市民の参加も想定できるので、内容にも幅が出てくる。</p>
<p>委員長</p>	<p>「先進自治体への視察」の他に何か意見等はあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題（２）で意見が出た、フォーラム参加者を募る際の無作為抽出が実施できるよう、郵送料を確保するようにしたいと思う。</p> <p>《その他、質疑等なし》</p>
<p>事務局</p>	<p><u>（４） 答申書について</u></p> <p>第 9 回会議資料及び別紙資料に基づき説明</p> <p>これから 11 月までに、第 1 期推進委員会発足の際に市長から出された諮問書（別紙資料）に対する答申書の内容を検討する必要がある。答申書に組み込む内容や文言について委員から意見をもらいたい。回答書を配布するので、9 月 22 日（金）までに事務局まで回答してほしい。委員から出された回答書を事務局で取りまとめ、次回の委員会で答申書案の審議を行う。</p> <p>《意見等なし》</p>
<p>事務局</p>	<p><u>（５） その他</u></p> <p>第 2 期推進委員会発足に伴い、9 月中に委員継続の意向確認をさせてもらう。基本的には、第 1 期の委員に継続をお願いしたいと考えている。</p> <p>5 事務連絡</p> <p>次回の委員会は、10 月下旬に開催予定である。</p> <p>6 閉会</p>